

令和2年度 第1回 半田市地域福祉計画推進委員会  
及び半田市地域福祉計画策定委員会

日 時：令和2年6月2日（火）  
10：00～  
会 場：市役所大会議室（4F）

1 はじめに

2 委嘱状交付

3 委員長選出

4 議事

(1) 令和元年度事業報告について . . . 資料1

(2) 第2次計画の基本目標及び施策体系について . . . 資料2

5 事務連絡

※次回開催予定 日時：令和2年10月13日（火）10時00分～  
場所：市役所大会議室（4F）

## 委員名簿

		氏 名	所 属
1	地域住民 (3名)	ミナグチ アキヒロ 溝口 昭弘	地区代表者(亀崎)
2		オグリ テルオ 小栗 照夫	地区代表者(乙川)
3		ヤマダ タカシ 山田 嵩	地区代表者(青山)
4	社会福祉事業者 (3名)	モリカワ タケヒコ 森川 武彦	社会福祉法人椎の木福祉会
5		タテイシ ヨシキ 立石 佳輝	社会福祉法人ダブルエッチジェー
6		ワシノ リンペイ 鷺野 林平	社会福祉法人半田同胞園
7	社会福祉活動者 (3名)	イマイ トモノ 今井 友乃	NPO法人知多地域成年後見センター
8		シモムラ ヒロコ 下村 裕子	NPO法人りんりん(りんごクラブ)
9		シバタ マサト 柴田 将人	愛知県弁護士会(半田市生活困窮自立支援調整会議)
10	事務局(市) (4名)	シムラ タカシ 新村 隆	福祉部長
11		スギエ シンジ 杉江 慎二	地域福祉課長
12		ナイノウ マコト 内藤 誠	地域福祉課
13		タケノコシ ナツキ 竹之越 夏姫	地域福祉課
14	関係課(市) (4名)	マセ ナオト 間瀬 直人	生活援護課長
15		サワダ ヨシユキ 沢田 義行	高齢介護課長
16		イトウ ナミ 伊藤 奈美	子育て支援課長
17		ヌマタ マサアキ 沼田 昌明	保健センター事務長
18	事務局(社協) (3名)	コサカ カズマサ 小坂 和正	半田市社会福祉協議会 事務局長
19		マエヤマ ケンイチ 前山 憲一	半田市社会福祉協議会 事務局次長
20		ナカネ ヤスユキ 中根 靖幸	半田市社会福祉協議会

(第1次半田市地域福祉計画)

# 令和元年度事業報告

## 重点施策（5項目）

ふくし相談窓口



### 1. 地域での課題共有と課題解決のしくみづくり



住民同士の  
助け合い組織

### 2. 地域学習の体系化による市民力の育成

ふくし勉強会  
・ふくし共育



### 3. 課題を地域住民と行政で協議する場づくり

ふくし  
井戸端会議



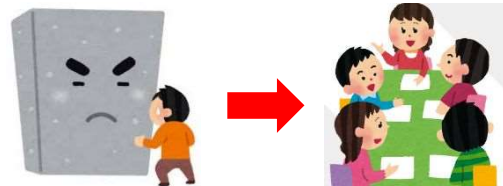
### 4. 総合的な地域生活支援のしくみづくり

相談支援機関の  
ネットワーク



### 5. 新たな課題に取り組むプロジェクト体制の整備

課題解決  
プロジェクトチーム

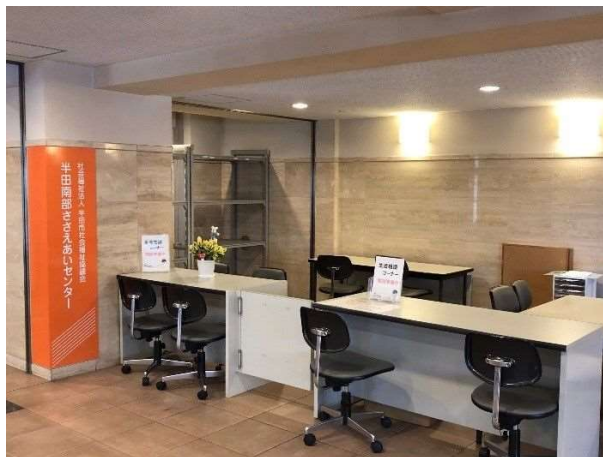


重点施策	<b>地域での課題共有と課題解決のしくみづくり 【計画P7～8】</b>					
目 標	住民が気軽に集まれる場所に『ふくし相談窓口』を開設します。					
実施内容	<p>① 平成31年度(令和元年度)までに全小学校区に「ふくし相談窓口(地域住民のちょっとした心配ごとについて相談ボランティア等に気軽に相談できる場)」を設置等します。                  ※「ふくし相談窓口」については、必ずしも「場所」という概念ではなく、相談ボランティア等が地域ふれあい施設、サロン等「人の集まる場所」に出向き、相談に応じる体制・機能のことを言います。</p> <p>② 相談ボランティアの担い手となる「にじいろサポーター」を養成します。</p> <p>③ 地域住民による助け合い組織の設立・運営を支援します。</p>					
実施状況・評価	評価指標(単位)	29年度	30年度	元年度	2年度見込	
	にじいろサポーター受講者数(人)	実績値 31	38	116	100	
	ふくし相談窓口設置数(小学校区)	実績値 6	10	13	13	
	地域住民による助け合い組織数(団体)	実績値 4	4	5	5	
これまでの取組等(～H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談ボランティアとして「にじいろサポーター」の養成に取り組みました(H24～)。</li> <li>・市内各所で地域サロンが開設されました。</li> <li>・地域サロン等の運営スタッフを対象とした「にじいろサポーター養成講座」を開催し、地域の見守り体制の強化を図りました。</li> <li>・ふくし相談窓口のモデル拠点として「おっかわハウス」が開設されました(H23)。</li> <li>・「おっかわハウス」に続き、「亀崎ささえあいセンター」が開設されました(H29)。</li> <li>・地域の介護予防拠点、多世代交流等を目的とした「地域ふれあい施設」が開設され(5か所)、その管理運営に対する助成を行うとともに、各施設の運営スタッフを対象とした交流会を開催、それぞれの課題やその解決方法等の共有化を図りました。</li> <li>・市内各所(亀崎・岩滑・住吉・成岩)で地域住民による助け合い組織の立上げが行われました。</li> </ul>					
R01年度の取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域サロン等に地域の身近な「ふくし相談窓口」としての機能を持たせるため、昨年度(H30)に引き続き、運営スタッフを対象とした「にじいろサポーター養成講座」を開催し、地域の見守り体制の整備を図りました。</li> <li>・特定非営利活動法人ひだまりが運営する「ふらっとスペース・ならわ」内に社協による「半田南部ささえあいセンター」が開設されました。</li> <li>・市内5つ目の助け合い組織となる「あおやまお助け隊(青山地区)」が設立されました。</li> </ul>					

## ふくし相談窓口

住民にとって身近な地域に、困りごと・不安なこと・その他どんなことでも相談できる「ふくし相談窓口」の設置に取り組んでいます。

専門的な相談員を配置した拠点的窓口である「亀崎ささえあいセンター（駅前ほうす）」、「半田南部ささえあいセンター（ふらっとスペース・ならわ）」において相談支援が行われています。



重点施策	地域学習の体系化による市民力の育成 【計画P9～10】					
目 標	『ふくし勉強会』を身近な地域で開催し、福祉人材を育成します。					
実施内容	<p>① 地域の方を対象に、地域単位で高齢・障がい・子育て・健康・防災等をテーマとした勉強会を開催します(「知っく！ふくしゼミナール」ほか)。</p> <p>② 身近な方の手助けができるようになるための様々なサポーター養成講座を開催します(「認知症サポーター養成講座」、「成年後見サポーター養成講座」ほか)。</p> <p>③ 市内小中学校等との協力の下、「ふだんのくらしのしあわせ」について子どもたちの理解を深めるため、「ふくし共育」を実施します。</p> <p>④ ふくし井戸端会議参加者、にじいろサポーター養成講座受講者、地域ふれあい施設スタッフ、地域の助け合い組織会員等を対象に地域福祉講演会を開催し、地域福祉意識の向上を図ります。</p>					
実施状況・評価	評価指標(単位)		29年度	30年度	元年度	2年度見込
	ふくし共育開催回数(回)	実績値	39	45	43	45
これまでの取組等(～H30年度)	<p>・幅広いテーマで「知っく！ふくしゼミナール」(H23～)を開催、市民のふくし意識醸成を図りました。</p> <p>・「認知症サポーター養成講座」(H19～)、「成年後見サポーター研修講座」(H20～)、「にじいろサポーター養成講座」(H24～)、「権利擁護サポーター講座」(H26～)、「生活支援コーディネーター養成講座」(H27～)、「ジョブライフサポーター養成講座」(H28～)等、様々な講座を開催し、福祉人材の育成を図りました。</p> <p>・「ふくし共育」を実施し、未来を担う子どもたちに「ふくし」について考えてもらう機会を設けました。</p>					
R01年度の取組等	<p>・引き続き、住民に身近な地域で「ふくし勉強会」を開催し、福祉人材の育成に努めました。</p> <p>・ふくし共育については、市内各学校の協力の下、総合学習の授業時間などを利用し、小・中・高等学校の児童・生徒などを対象に実施しました。地域の障がい者、高齢者、育児中のお母さんなどにも講師として参加いただきながら、子どもたちと共に考え、学び、育ち合い、地域全体の福祉力向上に努めました。</p> <p>≪ 令和元年度実績 ≫                  ⇒ 開催回数:43回                  ⇒ テーマ:「ふ・く・しのお話」「障がい者・高齢者・母子理解と体験」「認知症キッズサポーター養成講座」等</p>					

## ふくし共育

半田市に暮らす全ての方々の「ふ・く・し（ふだんの・くらしの・しあわせ）」の実現を目指し、市内の小・中・高等学校の児童・生徒などを対象にふくし共育を実施、福祉人材の育成に取り組みました。実施にあたっては、各学校の協力の下、総合学習の授業時間などを利用し、また、地域の障がい者、高齢者、育児中のお母さんなどにも講師として参加いただき、子どもたちと共に考え、学び、育ち合い、地域全体の福祉力向上を図りました。



開催テーマ：「ふ・く・しのお話」「障がい者・高齢者・母子理解と体験」「認知症キッズサポーター養成講座」等

重点施策	課題を地域住民と行政で協議する場づくり 【計画P11～12】					
目 標	『ふくし井戸端会議』を開催し、地域の福祉課題について話し合います。					
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小学校区単位で「ふくし井戸端会議」を開催します。</li> <li>② 地域住民・市・社会福祉協議会で、地域の福祉課題について話し合います。</li> </ul>					
実施状況 ・評価	評価指標(単位)		29年度	30年度	元年度	2年度見込
	ふくし井戸端会議参加者数(人)	実績値	732	951	565	600
これまでの 取組等 (～H30年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に「ふくし井戸端会議」を開催し、高齢・障がい・子育て・防災等様々な分野の地域課題について話し合いを行いました。</li> <li>・「ふくし井戸端会議」の開催を中学校区単位から小学校区単位へと細分化を図りました(青山地区(H25～)、亀崎地区(H27～)、半田地区・成岩地区(H30～))。</li> <li>・「ふくし井戸端会議」での話し合いが、地域住民による助け合い組織や地域サロンの立上げにつながりました。</li> </ul>					
R01年度の 取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防のため、3月に実施予定であったものが開催中止となりました。</li> <li>・一部の地域においては、第2次計画策定のため、個別に校区内の福祉事業所やサロン等へ出向き、利用・参加されている地域住民の皆さんから地域課題等について聞き取りを行う形態で実施しました。</li> <li>・乙川地区においても小学校単位で開催し、計画目標を達成することができました。</li> </ul> <p>         ≪ 令和元年度実績 ≫          ⇒ 【亀崎】61名、【乙川】180名、【半田】273名、【成岩】32名、【青山】19名          ⇒ テーマ:「認知症について理解を深めよう」「中学生とともに考えるまちづくり」「地域の居場所について」等       </p>					



## ふくし井戸端会議

中学校区～小学校区単位で、住民主体により、高齢・障がい・子育て・防災等様々な分野の地域課題について話し合い等を行いました。

○令和元年度実績（参加者数）

地 区		第 1 回	第 2 回	第 3 回	合計
亀崎	亀崎小学校区	61 人			61 人
	有脇小学校区	中止			
乙川	乙川小学校区	※54 人			180 人
	横川小学校区	※85 人			
	乙川東小学校区	24 人	17 人		
半田	半田中学校区	37 人	18 人	30 人	273 人
	半田小学校区	※78 人			
	さくら小学校区	※22 人			
	岩滑小学校区	※49 人			
	雁宿小学校区	※39 人			
成岩	成岩小学校区	12 人	中止		32 人
	宮池小学校区	10 人	10 人		
青山	板山小学校区	合同開催	中止		19 人
	花園小学校区	19 人			

※第 2 次地域福祉計画策定のため、個別に校区内の福祉事業所やサロン等へ出向き、利用・参加されている地域住民の皆さんから地域課題等について聞き取りを行う形態で実施（人数は聞き取り対象者の合計）。



重点施策	総合的な地域生活支援のしくみづくり 【計画P13～14】					
目 標	相談支援機関のネットワークを強化します。					
実施内容	<p>① 専門的福祉相談窓口や介護・福祉サービス事業者がしっかり連携し、対象者への適切支援につなげます。</p> <p>② 特に自殺・虐待・家庭内暴力等の深刻な問題に対しては、地域住民・行政・専門職が連携強化し、その早期発見・対処に取り組みます。</p> <p>③ その他様々な福祉ニーズに対し、専門機関の連携・協働を進めます。</p>					
実施状況 ・評価	評価指標(単位)		29年度	30年度	元年度	2年度見込
	生活困窮者自立支援調整会議の開催回数(回)	実績値	12	12	12	12
これまでの 取組等 (～H30年度)	<p>・介護保険運営協議会、障がい者自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会その他の各種協議会等が継続的に開催され、課題共有及び連携強化が図られました。</p> <p>・生活困窮者自立支援調整会議の開催(H29～)により、市の各部署及び各専門機関による支援ネットワークの形成を図りました。</p> <p>・亀崎地区における事業所間ネットワークを形成するため「亀崎地区ふくし事業所連絡会」が立ち上げられました。</p>					
R01年度の 取組等	<p>・引き続き、各施策を実施し、相談支援機関のネットワーク強化を図りました。</p> <p>・地域ごとに福祉事業者等の多機関連携会議が開催され、情報共有及び連携強化が図られました。 ⇒【亀崎】「亀崎地区ふくし事業所連絡会」、【半田】「半田中学校区多機関連携会議」、【成岩・青山】「半田南部多機関連携会議」</p>					

### 生活困窮者自立支援調整会議

市役所の関係部署 10 課と支援関係機関 6 機関が参加する生活困窮者自立支援調整会議を定期的に行い、意見調整を図りながら、生活困窮者に対し必要となる支援を行います。



### 多機関連携会議

地域ごとに福祉事業者等の多機関連携会議が開催され、地域貢献のための情報共有及び連携強化が図られています。



重点施策	新たな課題に取り組むプロジェクト体制の整備 【計画P15～16】				
目 標	課題解決プロジェクトチームを結成し、福祉課題の解決を図ります。				
実施内容	<p>① 社会情勢の変化により新たな福祉課題が発生した際には、課題に対応したプロジェクトチームを結成し、課題解決に取り組みます。</p> <p>② プロジェクトチームの構成メンバーとしては、福祉関係者だけでなく保健・医療・介護・教育・就労・産業・住まい・地域住民の代表等を想定しています。</p>				
実施状況・評価	評価指標(単位)	29年度	30年度	元年度	2年度見込
	実績値				
これまでの取組等 (～H30年度)	<p>・広義の「ふくし」を子どもたちに理解してもらうこと及び地域住民と子どもたちが共に学び合うことを目的とした「ふくし共育プロジェクト」により、福祉人材の確保・開拓を進めてきました。</p> <p>・災害時における要支援者への避難行動支援、福祉避難所の設置・運営等を目的とした「防災プロジェクト」により、要支援者名簿の作成と自治区等への名簿提供、福祉避難所の体制整備等を行ってきました。</p> <p>・社会福祉法人の地域における公益的な取組のあり方等について検討するための「社会福祉法人の地域貢献検討プロジェクト」により、市内に事業所を有する社会福祉法人の情報交換会を開催しました。</p>				
R01年度の取組等	<p>・引き続き、様々な福祉課題に対し、分野を超えて各関係者や地域住民が連携し、課題解決にあたることができました。</p> <p>・将来の市内福祉事業所の人材確保を目的として、市内福祉事業所と連携・協力の上、日本福祉大学の学生を対象とした福祉事業所紹介イベント「ウェルフェア・ワークス」を開催。 ⇒【会場】日本福祉大学半田キャンパス、【出展事業所数】8事業所、【参加学生数】28名</p>				

## ウェルフェア・ワークス

将来の市内福祉事業所の人材確保を目的として、日本福祉大学の学生を対象とした福祉事業所紹介イベントを開催しました。





## 第4章 基本目標と施策体系

### 第1節 基本目標

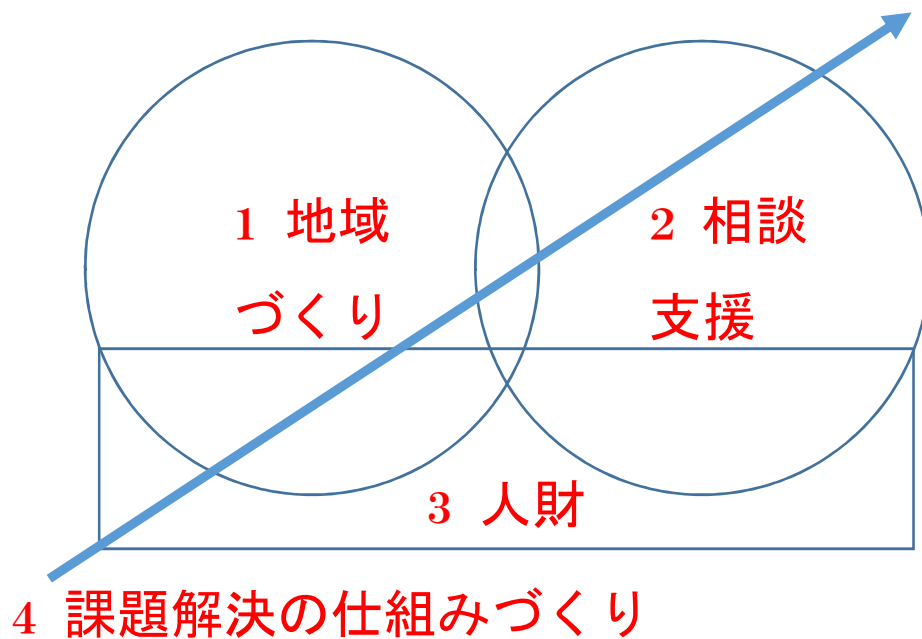
基本目標1 ささえあいの地域づくり

基本目標2 包括的・重層的・伴走的な相談支援

基本目標3 ふくし人財の確保・育成

基本目標4 課題解決の仕組みづくり

(概念図)



## 第 2 節 施策体系

### 基本目標 1 ささえあいの地域づくり

#### 推進施策 (1) 地域福祉基盤の発展推進

(主な取組)

- ① 地域福祉課題の共有と解決に向けた議論の場づくり
- ② 地域の居場所・助け合い活動の発展推進
- ③ 民生委員・児童委員・保護司等の活動推進

#### 推進施策 (2) 防災・減災の推進

(主な取組)

- ① 避難行動要支援者名簿の活用推進
- ② 福祉避難所等の整備推進

### 基本目標 2 包括的・重層的・伴走的な相談支援

#### 推進施策 (1) ふくし相談窓口の拡充

(主な取組)

- ① 地域の身近な「ふくし相談窓口」の拡充

#### 推進施策 (2) 各相談支援機関の連携強化

(主な取組)

- ① 各相談支援機関の連携強化
- ② 就労・住まい・移動等に関する支援の充実

#### 推進施策 (1) 生活困窮者等自立支援の充実

(主な取組)

- ① 自立相談支援等の充実
- ② 自殺・ひきこもり・虐待・累犯・支援拒否等困難ケースの対応充実



基本目標 3 ふくし人財の育成・確保

推進施策 (1) 地域福祉の担い手育成

(主な取組)

- ① ふくし理解の促進
- ② 地域福祉の担い手育成

推進施策 (2) 介護人材等の確保支援

(主な取組)

- ① 介護人材等の確保支援

基本目標 4 課題解決の仕組みづくり

推進施策 (1) 課題解決の仕組みづくり

(主な取組)

- ① ふくし課題プロジェクトの推進